

○ 岡谷遊技場組合、アサヒグループが被災地に寄付

☆ 岡谷遊技場組合（呉本公太組合長）は4月4日、東日本大震災と長野県北部地震への義援金として100万円を岡谷市に寄託した。

☆ アサヒグループ（呉本公太社長）は3月17日、東日本大震災の被災地への支援物資として、マスク2万4,000枚を諏訪合同庁舎の県窓口に寄託した。

同グループが新型インフルエンザ対策として備蓄していたもので、呉本専務から池田地方事務所長に物資が手渡された。

市民新聞

2011年(平成23年) 3月18日(金) 第3種郵便物認可

被災地にマスクを寄付

県窓口に2万4千枚寄託

アサヒグループ

アサヒグループ（呉本公太社長、本社・岡谷市長地権現町）は十七日、東日本大震災の支援物資としてマスク十二箱（二万四千枚分）を諏訪合同庁舎の県窓口へ託した。

この日、呉本専務が

け付ける。

ら池田地方事務所長に物資が渡された。グループの各ホールでは、利用客に義援金の呼びかけを十六日から始めており、「年代を問わず、かなりご協力いただいている」と呉本専務は話していた。

岡谷遊技場協組
市に100万円

岡谷遊技場協同組合（加盟4社、呉本公太組合長）は4日、東日本大震災と県北部地震への義援金として、100

万円を岡谷市に寄託した。写真。義援金は、組合員から毎月徴収している会費の一部を充当した。自分の子どもが炊き出しで被災地へ行っているという呉本組合長は「子どもは生きていくことのありがたみを感じると話していた。あまりに被害がひどすぎるので、とにかくお役に立てれば」と話した。



物資を池田所長に渡す呉本専務